



概要

当院泌尿器科では尿路(腎臓・尿管・膀胱・尿道)・男性性器(前立腺・精巣・精巣上体・陰茎)および内分泌臓器である副腎を対象とし、泌尿器科一般(尿路性器腫瘍・尿路感染症・尿路結石症・排尿障害・尿失禁など)の診療を行っています。

また、末期腎不全患者に対して血液透析による治療を行っています。

腎臓癌・膀胱癌・前立腺癌などの尿路性器腫瘍に対しては手術療法・放射線治療・化学療法とさまざまな治療を組み合わせ治療を行っています。膀胱癌に対しては2022年10月より光線力学診断を用いて、より確実に癌病変を切除するように努めています。2024年4月より当院において画像誘導型強度変調放射線治療装置が導入されました。腫瘍のみをできるだけ正確に照射できるため、周囲の正常組織のダメージを少なくすることができます。高齢者や心臓・呼吸器系の合併症を持った患者さんも多く、手術を行うことが難しいケースが増加しています。そのような患者さんに対して放射線治療を行う事を検討しています。また、限局性前立腺癌に対しては根治が期待できるので積極的に行っていく予定です。

進行性・転移性の腎臓癌や膀胱癌に対しては血管新生阻害剤や免疫チェックポイント阻害剤が使用されることが多く、これらは従来の抗癌剤とは異なる副作用も多く、他科の先生や薬剤師と連携して副作用の対策・管理に努めています。

初期の転移のある前立腺癌あるいは去勢抵抗性前立腺癌では新規ホルモン剤・化学療法薬(抗癌剤)・分子標的薬・放射線医薬品の投与が可能となり、患者さんにとって治療選択の幅が広がっています。

現在抗癌剤治療を受けられる方は日常生活・仕事・趣味・副作用・医療費等不安なことがたくさんあると思います。患者さんには今後の治療について望むことを話していただき、納得して治療を行っていただくことを心がけています。



実績

○手術件数

	件数
腎腫瘍	2
尿管腫瘍・腎盂腫瘍	3
経尿道的膀胱腫瘍切除術	51
膀胱全摘	2
前立腺全摘除術	6
経尿道的前立腺切除術	26
内シャント造設術	22
前立腺生検	60